



山に生きる

自然が豊かな北海道。今の季節は木々が紅や黄色に色づき見る者を楽しませてくれます。

東山保育所は山の中にあり北海道らしい雄大な自然を感じさせてくれるところです。今日はそんな東山保育所の近辺を散歩しているときの様子をご紹介しますと思います。



ちょっと外に出るだけでもこの景色。天気の良い日は必ず外に出て、自然いっぱいの中を楽しく遊んでいます。園庭奥のところには斜面があり、雪が積もればソリやチューブで斜面を滑り降りて楽しむことができます。写真奥のところには小川があり、長靴を履いて川に入って遊んだりしています。最近は川周辺の刈り終えた草が川の中に沈んでいるのを枝等を使い“掃除”をして遊んでいました。



保育所を出て少し歩くと、いろんな出会いがあります。落ち葉や虫たち、この日も青い虫を見つけました。最近同じ場所によく見つける虫です。いつも見かけるので子どもたちは親近感から「アオイちゃん」と名付けました。かわいいですね。



子どもたちは外あそびはもちろんのこと、散歩も大好きです。外に行けると知ると子どもたちは「ヤッター！！！！」と大喜び。連れていく私たち保育者も嬉しくなるほどです。涼しくなってきた秋は長距離の散歩を楽しむ絶好のチャンス！たくさん歩くことで身体作りや気分転換、交通ルールや社会的ルールを学ぶことができます。また直接自然に触れることで好奇心や探求心、思いやり等が培われます。散歩や戸外遊びは良いことだらけなのです。

写真はいつもお邪魔している山へ続く道です。散歩前に虫よけスプレーをかけたり、保育所に戻ったらマダニがついていないかチェックを欠かさずに行っています。鈴を鳴らして山の神様へのご挨拶と称し、大きな声を出して山中を散策しています。

この山道は結構な勾配のある道なのですが子どもたちはお構いなしに走り回っています。疲れては休憩し、また走り…子供たちは本当に元気です。



木についている看板を見つけ子どもたちは「アンゴウ（暗号）ダ！」と面白がって見えています。いつか解る日が来ることを願っています。



山の中を歩いていると山菜やキノコ、ナナカマドなどを見つけることができます。写真のものはホップです。秋ともなると枯れてきてしまいますね。目指す頂上まではもう少し！





シカの足跡です。山の中ではシカの他にも野ウサギやエゾリスなどに会うことがあります。蛇に出会うことも…。



この日の散歩ではキノコの他にどんぐりも見つけることができました。どんぐり同士がくっついていてのものを見つけたり、自分好みの形の物を見つけ喜んで持ち帰ります。子どもたちはいつでも発見と驚きの連続です。

頂上についた子どもたち・・・。



指のその先には・・・。



美しい景観でした

小さな子どもでも、この景色を見ると「キレイダネ」とつぶやきます
いつまでも、この美しい自然を守っていきたいですね



頂上にて記念写真！少し探検を楽しんで山から出るときは山の神様へ「お邪魔しました」とご挨拶をしながら楽しく、無事に散歩ができたことに感謝をしつつ帰路につきます。

たくさん歩いた子どもたち。帰りも元気に保育所まで歩きました。往復で1時間近く歩いても元気いっぱいです。保育所に戻ってからはママが作ったおいしいお弁当を食べて、たくさんお昼寝をして元気をチャージし、また元気にあそびました。

また行こうね。